

只今、会長に選考いただきました吉田でございます。神谷会長から北海道小学校長会 会長という大役を引き継ぐこととなり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

会長の就任にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

北海道小学校長会は、昭和32年の発足から来年度64年目を迎える伝統ある組織であります。「正論を以って正道を歩む」という崇高な理念の下、全道の会員一人一人が、北海道の小学校教育の充実・発展のために、真摯な取組を続けてきております。脈々と受け継がれているその伝統を大切にし、皆様と力を合わせ、さらなる前進をしてまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染拡大により、学校現場は2か月間の休業という、これまで経験したことのない状況から令和2年度がスタートいたしました。その間、失った授業時数は長期休業や土曜を使うなどして授業を行い取り戻すことができました。また、新しい生活様式が示され、数多くの制約の中で、「今、何ができるのか」と各学校で工夫し教育活動を進めてまいりました。そのような中、学習指導要領の全面実施も同時に始まり、改訂の柱である主体的・対話的で深い学びの授業改善が求められました。たとえコロナ禍のピンチの状況であっても学校は「子どもの学びをとめてはいけない」と授業改善に取り組んできました。令和3年度はこの授業改善をさらに進め、定着を図ることが大きな課題の一つと考えます。その課題の解決のためにはICTの活用も重要です。児童一人1台端末の整備が、GIGAスクール構想の前倒しによって一気に進みました。新しい生活様式の中で、各学校でどのように活用

し、一人一人の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につなげていくかが強く求められます。

もう一つの課題は働き方改革の推進です。各学校は教育課程全般を見直したり、事務作業の効率化のための ICT 機器を活用したり、専科教員の導入、外部人材を活用したりするなど創意工夫をしながら取り組んでいるところです。しかし、まだ十分な成果を上げているとはいえません。子どもと向き合う時間を確保したり、きめ細かな指導を行ったりするためにも、私たちは働き方改革を積極的に推進いたします。そのためには、人材がどうしても必要です。しかし現状は不十分です。道教委と一層の連携を図り、人的配置の問題が解消されるようにエビデンスに基づいた提案や要望を行ってまいります。

この1年、道小の役員、理事、事務局員全員が会同した研修会が一度もありませんでした。発信側も受信側も手探り状態で Zoom を使った Web 会議が始まり、1年経過した今は相当スムーズに行えるまでになりました。広い広い北海道が Web でつながることの重要性を心から実感した1年となりました。全道の校長先生が自校の校長室からストレスなく Web 会議ができるよう、3年度は強く道教委に要望し、各地の受信環境を把握させていただきたいと思っております。併せて、私たちの会同したい思いは膨らむばかりです。会同することで得られていたことがどれだけ多かったのか、改めて実感した1年でありました。

道小としましては、令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、活動を進めてまいります。「安全に開催できないから会同中止」

ではなく「会同しても安全に開催できる可能性」を積極的に探り、一步また一步と通常の状態へと前進させたいと思います。特に第64回道小教育研究石狩・千歳大会は会同による研究大会を目指します。コロナ対策として例年よりも少ない参加人数での開催や感染対策を万全に行うなどして、実り多い大会となるよう、石狩管内小中学校長会を中心に、道小の会員全員の力を結集していきたいと思います。

令和3年度も道中、道公教はもちろん、道教委や各市町村教委等の教育関係諸機関と連携を図りながら、コロナ対応も含めた学校現場が直面する様々な教育課題の解決に向けて取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。